

NO 435 BASTOS, 10 de AGOSTO de 1958 O PROGRESSISTA REG. N. 2695 N. 4576 SÃO PAULO A. P.

バストス週報

第四三五号
昭和卅三年
八月十日
発行
DIRETOR
KOITI MORI
REDATOR
GHION ODA
RUA PRES.
VARGAS, 188
BASTOS
C. P.
CR. \$
100.00
ANUAL

天護 2

世界の農業に学ぶ

去る八月四日東京都豊島農民学校々長
農学士藤崎盛一氏の講演がバストス産業
会館で開かれたので拝聴に出かけた。雨
の為め聴衆が少く定刻より一時遅れた
三年前同氏の立休農論を拝聴したとき
は満場座無の余地もない程だった盛会に
比し些が淋しい気がした。同氏はデンマ
ルクスエーデン等欧州十一ヶ国を視察し
て帰国されたので、今夜の講演には視察
の感想をもととして、日本及在伯コロニア
人の農業の在り方と将来の指針について
二時間四十分のわたり詳々の熱弁をふる
られた。以下はその筆記である。(希音)

藤崎先生 演

三年前前にブラジルに参りました。今
回は移民五十周年祭によはれて再びや
て来て去る七月の中はからノ口線を振り
出しに村々を歩いていきます。今やブラジル
に於けるあなた方の農業も開拓時代を了
え、本格的な営農時代に入りました。日
本から来てあなた方はムチャクチャな百姓を
や。たのだが、これからはブラジルに於ける
農業の確立をしなければなりません。その
時にあたって只今からお話ししようと思
う。世界の農業に学ぶ。についてブラジルの
農業をどういふようにするかと、お考え願
いたい。約二時間半にわたってお話しして
見たいと思ふ。

先年参った時私は、ハワイに25日、北米に
40日、ブラジルに三月半、アルゼンチンに11日、そ
れからヨーロッパに渡り、英国に7日、デンマ
ルクに一月、それからスウェーデン、イルウェー、フラ
ンス、ドイツ、スイス、イタリアを廻って帰国し
たのであります。大体世界の主な国々
を視察して、結論を得たので、それを申上
げて見たい。それは七つの結論なのです。
第一は日本人の生産技術は世界最高だ
という点であります。他のどの国と比較
しても日本人及び民族は、この点大
いに自信を持ってよろしい。アメリカ一に
なれば世界一といつてさしつかえない。
アメリカに於ける稲作は日本人である。
加州の幸田テキサスの西原などが大きい。
どの位の面積をやっているか。加州の
幸田の水田は二千アルケールあります。

ALFAIATARIA IMPERIAL



丸山洋服店
うしろすがたもまた千両

Wakamoto

もしあなたが、いつまでも
若々しく元気でいたければ
毎日欠かさず「わかもと」を
召しあがって下さい。

わかもと



胃腸がさわやか
で、いつも活動力が湧上ります

日本のわかもと
伯国総代理店パワリスト製薬会社
社長 中久保益太郎

C. P. 3656

どうです二千アルケール、坦々たる一面の
水田。これにどういってタネをまくか、播
種飛行機株式会社があって、これにたのむ
と、またたく間にやっつけられる。
又野菜作りも日本人が第一。カリフォル
ニアの勝田農場のセロリといえは有名
だが、どの位の面積作っているか。八十
アルケール日本の二百歩、これに要す
る床土が五千坪、これを温床を作るのた
が、これをかきまぜるにフルト、サキ使
ひます。こういう大百姓が居る。大平洋
戦争中アメリカは日本人を異地へ集め置
禁したが、そのために野菜を作るものが
なくなつて困つた。なという話がある。次は
花つくりですが、これも日本人が一番上手

バストスの気温

一九五八年 七月中

F区 西村農場調査

日	最高温度	最低温度	降雨量
一	二八・五	一五・三	三・〇
二	二八・三	一七・五	〇
三	二八・〇	一四・〇	〇
四	二八・六	一五・三	〇
五	二七・〇	一三・八	〇
六	二七・〇	一四・〇	〇
七	二八・〇	一四・八	〇
八	二八・五	一五・五	〇
九	二八・〇	一五・五	〇
十	二四・〇	一四・〇	二・四
十一	二四・〇	一三・〇	〇
十二	二五・〇	一三・〇	〇
十三	二五・〇	一三・〇	〇
十四	二五・〇	一四・〇	〇
十五	二五・〇	一四・〇	〇
十六	二五・〇	一四・〇	〇
十七	二六・〇	一五・〇	〇
十八	二六・〇	一五・〇	〇
十九	二六・三	一六・五	〇
二十	二五・四	一四・〇	〇
二十一	二五・四	一四・〇	〇
二十二	二五・〇	一四・〇	〇
二十三	二五・〇	一四・〇	〇
二十四	二五・四	一四・〇	〇
二十五	二五・四	一四・〇	〇
二十六	二七・五	一五・八	〇
二十七	二九・六	一六・八	〇
二十八	三〇・〇	一七・〇	〇
二十九	三〇・〇	一七・六	〇
三十	三〇・〇	一七・八	〇
平均	二六・四	一五・二	計一・二七

姓が元らいののではなく、政治が実によいの
 である。私はデンマークの農業政策を見
 て成る程と感ぜ、日本へ帰った。参議員
 に打って出て日本の農業政策につくして見
 たいと考えたが、日本の政治はつハイシ
 ている。一朝一夕に改まるものではない
 と政界進出を断念した。でありました。日
 本では百姓が恵まれないのである。百姓
 を生かす殺さす。この昔からの為政者
 の政治思想は現代の日本政治にも長く尾
 を曳いて居るのであって、政治のよくな
 りの国の百姓は頭が上らない。去いにくい
 ことだがブラジルでも同じことがいえる
 。ブラジルは気候風土は世界一といわれ
 る程恵まれて居るのに農業経営がうまく
 いかないのは政治がわるいから外なら
 ぬ。これは日本以上であると思われま
 す。珈琲政策がない。棉花政策がない。
 あつても共に悪い。これで行くま行く苦
 はありませぬ。
 そへ行くくと北米の政治はさすがに立
 派なもので、農業政策には見るべきもの
 が非常に多い。よい国の政治。よい政治
 というのは人民のための政治でなければ
 ならない。日本やブラジルにはそれがな
 い。デンマークでは百姓をやろうと思え
 ば、金がなくともなれる方法がある。農
 産品などは百姓の農場は父子相傳でなく
 高品だという考えが徹底してあります。農
 家の青年は中学を出ると十八才位で作業
 又は作女になつて自分の家より、もよよ
 家に住込むのです。末だにこうしな旧い
 習慣に従つて居る。四月から十月迄働き
 十一月になると寒くなる。そこで十一月
 から翌年の三月迄、国民高等学校へ入学
 する。女は五月から七月迄三ヶ月入学す
 る。つまり夏は休いて冬期通学する。農
 学校に行く者も冬の間だけ。こうし
 て二十五歳迄働きつづける。その間に百
 万円位貯金が出る。その間に兵役にも
 服し入営するものもある。百万円をまら
 ぬ者は愛人の令と合せて資金とする。こ
 れだけあれば独立ができる。その百万円
 は家畜資本、農具資本、及生活費に充てる。
 父の農場を譲うのがいやなら他の農場を
 買うことができる。「輪廻場」があつて全
 国の売り物の世話をするからそこで見つ
 ける。いわゆる祖伝末の土地とが、父祖に
 すまぬなどという思想はないのだ。土地
 は商品という考です。父の農場を譲おう
 と思えば、そこは父子の間だから、まけても
 もらえるであらう。そこで自作農創立法
 に基いて資金貸下を政府に申請すると四
 百コント位貸与してくれます。この金を
 父に渡すと、父は農場を引渡し、自今はその
 の金で余生を送る。毎年地方の風景のよ
 い所を立派な隠居住宅の点々となり

んでいるのを見ることかできます。父子
 はこうして別居する。親は時々息子の農
 場に孫を見に行く。やなみのない生活社
 会がこの様にできて居る。日本のように
 大家族が一家に雑居して嫁姑の問題が
 きないようになつて居る。
 日本にも自作相定法はあることある
 。ほんの申わけに作つてあるが、ほんのま
 ねことのようなものではない。二十五年年々賦償還
 となつて居る。百姓の仕事では二十五主
 に済せるものではない。デンマークでは
 五十年乃至七十年貸してくれる。その
 又利子が安い。非常に融通の利く國で
 あつて、凶作の年は年利僅かに二歩、ま
 るで只同様です。豊作の時でも最高九歩
 しかとつていない。私は一九三〇年以來二
 十五年間の利子を調べたと、平均四歩

農産品評会成績表 2

前号誤植訂正

1 雑穀部 五シヨソシヤ一席 小沢正雄 エスベラナ
 (シヤーカーラは誤り)
 2 マンシヨカ 一席 新津夏好 カロラ
 (新津牛丸は誤り)

前々号(四五三三)誤記訂正
 シヤーカーラは小沢将男がバネリ一武青
 雜畧の実態を出品したように記述したの
 は誤り

○出品者はクロリリアの岩田在代治氏
 です。小沢氏の申出により判明しまし
 た。岩田氏におわび致します

野菜部

(註) 小沢氏は自家ではバネリ武青雜を
 居られるので、思いがけいさしたものでした)

アラルタ	一等	古賀一敏	クロリアム
ク	二等	清水マカシ	ホソフィン
ノマンテ	佳	小沢孝治	シヤーカーラ
ラハネツバ	佳	嵯峨光雄	ク
アセルが菜	佳	鶴義行	中 史
ク	一等	小野田一秋	ヤルト
ク	二等	西川金作	ウニオンズ
ク	佳	安斎成夫	アルト
ク	一等	ヒエラアルベス	セントロ
ク	二等	小沢孝治	シヤカラ
ク	佳	上山大郎	カスカッタ
ク	佳	新津夏好	クロリアム
ク	佳	内島場七郎	シヤカラ
ク	佳	樋口久代	ウニオンズ
ク	佳	西見吾市	エスベラナ
ク	佳	豊田政治	フロクレツソ
ク	一等	上村大八郎	カスカッタ
ク	二等	新津牛丸	スロリアム
ク	佳	安斎成夫	アルト
ク	一等	森川守夫	シヤカラ
ク	二等	新津夏好	クロリアム
ク	佳	嵯峨ハハ日	シヤカラ
ク	二等	三宅利喜松	クロリアム
ク	佳	新津牛丸	カスカッタ
ク	一等	遠藤雄一郎	クロリアム
ク	二等	新津夏好	カスカッタ
ク	佳	奥田氏蔵	セントロ
ク	佳	本田一男	ク
ク	佳	本田久子	ク
ク	佳	本田まり子	ク
ク	佳	アルワルモドロ	シヤカラ
ク	佳	上島照子	クロリアム
ク	佳	木内篤	アルト

七月十九日入植祭能句会(念願先送)

冬ざれや移民の墓地の放れ牛 水仙子
 毛糸あむ踊り相手待つ間
 大根買う三本束と四本束
 遠火車と決まりシネマの坊符買 後別春
 ベルシヤ猫と鸚鵡かたえに毛糸あむ
 頼焼にまた肥れたるユマヤ店 櫻井
 大根馬車きけんそねね橋越えす 糸音
 この暮しいつまで続く毛糸あむ 曉星
 冬ざれの掃入りの句にお向生れ ハウ口
 宮坂紋別春さんの「遠火車」の句、都会などでありそう
 なこと、安んじてシネマ見に入る人の様子が描かれている
 「ベルシヤ猫とオム」を配置したことによって、茶屋の生
 活が浮彫され、そこに毛糸あむでいる中卒の婦人の豊かな
 姿態までが想像される。二句とも技巧の晴れた作品である。
 水仙子さん大量入選。「放れ牛」が墓地の垣の破れから
 のそのを侵入し様子を描いたもので冬ざれがよくきいてる。
 毛糸あむは色々な場面を指されるが、踊り子が相手のく
 る句をもあみつかけてるというは面白い。タンスの相
 手ではなく、二人か三人で組んでおどる踊りであろう。
 (バスト同伴句会同学校々長評)

Bar Meinaguti 水丸バー

おいしい日本の食料品
 ひとつ入荷いたしました

コンブ・ワカメ・ノリ・カンテン
 カビヨ! コンニヤク粉・カレー粉
 ワサビ・厚板コンブ・エザミコンブ
 味の素・カツオブシ・みりん
 その他いろいろ

一斗見に行きませう
 オア、いろいろある

アロビ、サケイカ、アカ貝、サガエ
 イイタコ、カニ、ウナギ、松アケ、
 ノリ佃煮、梅干、タイ茶漬、
 カツオミソシヤキ、フリカケノリ

おいしくて存外やすいのが
 みそ!



第一回バスケラ競走

七月二十日午後五時半
バストス三十年祭記念
主催バストス聯合青年団
体育部

入賞者

- 団体第一位 クロリアII区チーム
アゼンシアトランドセルアルタバウリスタ
総代理ルセリア市田中商会バストス代理
優勝 人平藤慶二、信太順治、西氏奇贈
- 全 第二位 エスヘランサ区チーム
三位 巴 ストス市信太茂氏奇贈
全 第三位 セントロ チーム
三位 巴 ストス市山内武彦氏奇贈

個人の部

- 一位 平井サトシ (エスヘ) 優勝 巴 奇贈 青山重天氏
副賞 小茂田商店賞
二位 三次クモト (F区) クロネ吉浦兄弟奇贈 巴
副賞 ヘルナンサカナ賞
三位 吉元トール (エスヘ) 吉浦 巴
西川薬局副賞
四位 新出春雄 (F区) 吉浦 巴
伊藤靴店副賞
五位 竹原 実 (GII) 大賞 勝義 巴
杉山セント工場副賞
六位 茂 爽 (GII) 能見利八 トロイ
七位 柳浦省三 (CT) 佐藤 勇 氏
八位 豊田光雄 (P) 竹内清氏
九位 ルイスマルク (CT) 杉 藤 氏
十位 井上 誠 (GII) 杉本誠 氏
十一位 杉 恵 安 之 (B) シンカ 吉村氏
十二位 樋口 健三 (UI) 横田正義氏
十三位 栗田直治 (UI) 体育部
十四位 スレドセビ (CT) 守越バハル
十五位 炭谷 正 (UI) 体育部
十六位 ジョセフ
十七位 フランシスコアルベス
十八位 古賀 敦敏 (GII)
十九位 垣本 兄 (C)
二十位 内馬場 エミル (CHA)
三十位 内右 秋雄 (B) シネバンテラシテ清泉氏
バストス三十年記念三十等名作
- 特別賞 松田少年 宮崎 眞 賞
参加者全員五十四名へ記念メダル
マリヤ市会議員中川重典氏奇贈
タツマ、トロイ、メタリヤ等御奇贈
下さりました方々にあつく御礼申上ます
バストス聯合青年団 体育部
柳浦 省三
丸山 敦

27 POINT 24 POINT 20 POINT

聖火競走 会計報告

収入之部	三〇〇.〇〇
支出之部	一五八五.〇〇
中学バスター礼	七六〇.〇〇
準備費	五〇五.〇〇
広告代	一五〇.〇〇
差引 残金	ナシ

右之通りです 丸山 敦 柳浦 省三

参加申込は八十人であったが青羊団員は受持仕事のため棄権する人多く、スタートに並んだ参加者は五十四名、最後迄頑張った者は四十人であった。尚、タイムは一着二〇分二十九秒八、二着二〇分三十六秒六、三着二〇分四十五秒九

コースはホントよりツツキテカシヤスな横ガリアテマル街を東上、オスワルトクス街を横ガリアルガス街を下ってホントに到る、これを三周した。(およそ三キロ)

尚、フラタク製糸からタイムウオウを拝借したり、水野氏高田時計店主氏など、タイム係としてお世話と頼られたりして大変助かった。この欄であつく御礼を申上ります。

僕たち修学旅行の記録

EXCURSION
サンジョセ中学男女四年生

七月二日午後六時ホ合ランシャリア 献巻
七月三日午前十時ホ合サンパウロ着
一行四十八人(内女子一八名)外ニ先生三名
サンパウロで見学したところ
フタメン、パカエンブー、CIATUCIの動物園、イヒラアエーラ、オルトフロレスターノ、ムセウイヒランガなど
七月五日 サントス下校、サントスで見学したところ、水族館、船のつくところ、セリカン、フライア
七月八日から十四日迄リオ滞在
ホンテアスカール、コルコバード、イリヤパケタ、ペトロホリス、ムセウインペリアル、シヤルジン、マロジゴ、コパカバナ、フライアペルメリア
かねての希望がかなって、サンパウロ、サントス、リオなどのエスフルソにばかり珍らしい処や、美しい風景を見ることができて、こんな愉快なことはないが、京野四郎さんのおかけで乗車券はもろく、案内で方々見せてもらうし、皆さんの大へんお世話になった。みなさんありがとう、そしてバイバイにもお礼を言わなければならぬ。

9
ガキ寫真といった程度の美しさだ。今日は
寫真の方の人が居るので専門の批評は
きんね

水仙子 監督として、フンタンに日本近海の美しい
風景をとり入れて、物語りの筋を運んでいるよ
うに努力しているね。

糸 アメリカの天然色映画とちがってイーストマン
カラーの松竹現像は日本人向きで、どきどきなく
自然に近い色彩で、目下のコロリードとしてはす
ぐれている。

春歩 僕はもっと絵画でいうアブストラクトの
傾向が映画にもとり入れられていいと思うんだ
物語りはヒューマニズムでも、表現に何か、別途
な創造はないものかと考えているんだが

奇峯 そりや、錆びた小刀とか、狂った太陽
といった格次郎ものだったら、或は多少
かわった表現も面白いかも知れんが

水仙子 やはり革新的なものの見方の差
だろうね。僕らの年配では、木下調と
いうか、ありおたやかさが恰度いい

奇峯 全くだ、最後に近い場面だ。エジプ
トに行く船中の娘夫婦と燈台から、その
船を見送る有沢夫婦の会話や動作には
並々ならぬ細心の用意がふくまれている。
俳優の演技を生かすために、苦心する監督だ
もの、色々な場面が、夫婦の愛情や社会情
況に於けるムジュンや、人生の幸、不幸、不平不取
ななどを、いさ／＼な形でとらえている。

糸 とほり下していても、風景の捉え方が平凡な
という理由で、この映画の価値が下るとは思わ
れんね。

糸 コリヤ木下アンの随一だ、春歩のいった
ことは、僕がけれかけたからだ。どんなに映画に
も盲点はあるよ。われ／＼は、えら相を顔きいて
それをつきまわんだよ。例へば、エジプト行き
夜の汽船から、灯台を眺める娘夫婦の表現
は、いかにセツトといえども、ムリだよ。せめて甲板
の廊下から撮ったようにでも工夫すれば別だ
が、二回も三回も大馬鹿にする、真正面の姿
は、感情をよりよがりせようとすると、仕組に
はお粗末すぎる。

糸 ところが教会でカザンツを終えて新夫婦の退
出する正面の場面があるね、あれなど、あんな方
は、どう感ぜられるか知らんが、寫真として見
れば、オアア美の極致といえるのではないが、一言も
いわない、たださぬおれのかすかな音だけだ。
だからさ、すばらしい撮影もあるし、時に気にい
る場面もある。

水仙子 わたしは二回見たんだが、二回ともいい
と思つた。無條件にいいと思つたね。

奇峯 早くは期待以上の好感をもつて見
た。オアア近末の大傑作だと、かりにほ
くが審査員なら、映画界最高の名誉たる
キホウ賞を贈らうと思つている

春歩 うわアやられた。
糸 今度は脚本、音楽、メスを入れてみ
よう

(二の稿未完)

Bar e Sorveteria Yaguira Irmãos

セルベージャ 48入 600¢-上
エルタデーラ キロ 42¢-

製氷と鮮魚

マクロ その他
海のペーシェ
毎日入荷



九月には、はいりますと
カサメントが多くなります
御馳走のペーシェは前以て
お申込み下さい
のみものの御準備も致します
器物(皿)などお貸しします

ヤギウライルモンス

目下盛業中のホン店
家事の都合上
居ぬきのまま、
お得意さま付きで
ゆずります

有利な

ホン店

けいけんのないお方でしたら
充分に製造、経営などの
コツを、お教えし、且つ一ヶ月位
ついて居て、さしあげます

バッテリー ロイヤル
青山まで

農業使節団来植

去る七月廿七日リオ着、二十九日聖市着の日本農業使節団は八月五日パラナ州ロ市より飛来ッパン逕由十一時バストスを訪日された。一行の顔振れは左の通り、

團長石黒忠篤氏 元農相
 団員盛永俊太郎氏 農業技術研究所長理伝
 米倉藤也氏 全農協副会長
 諸富春太氏 農村中央金庫常務
 小池二三氏 家の光常務理事
 井上勝英氏 日本農業研究所監事
 岡村淑一氏 新島米農協改良財団理事
 一行は畑中仙次郎氏邸に少憩後池田ホテルにて昼食中バストスの話を聞き、午後一時より四時迄バンテラシテ組合種鶏場、松森ポンカン園、畑中西風場阿部原養飼育所、フラ拓製ホ、等を視察して午後四時半聖市帰途の旅にのついた。團長石黒氏は、もう七十を越えたと思われる年齢であるが、長途の旅にも中々元気を様子であった。

Milmo Sr. Aquino Tamiguishi
 B. B. Presidente da Associação de Colonia Japonesa de Bastos.

Sinceramente confundida com o termo. Noo brinde que essa Associação houve por bem homenagem-me, pela passagem de 30^{os} aniversario da fundação de Bastos, cuja significação tem para mim o mais alto valor. sinto-me no dever de apertar-lhe a gentileza da transmissão-las, outrossim, aos demais membros desta historia organizada.

Agradecida. Subscreevo-me nos seus sentimentos.
 Ondina Moisa de Mancilha

ドーナ、オンジーナ、マシリア夫人が去る七月十八日夜教育界の恩人として表彰された。その表彰に感激して昨日会長宛御礼をのべられたのが前記の本文です。

加藤好之氏より礼状

拝啓先以ってバストスの光輝に満ちたる三十年を衷心およろび申上げます。(木立一不足なりしは残念大至急たのみお送りイオす)さて私にも立派な記念品頂戴、之れは全く思いがけなき分外の光栄、確かに宮坂さまが拝受されたが祝典委員諸賢兄へへお礼もよろしく御礼御伝達願上げます。参列叶はざしお詫びと御礼取急さす。 (谷口氏宛)

一九五八年七月二十八日
 在聖バストス会

農山 根田 剛哲

バストス祭典委員会
 委員長 谷口 章 様
 委員各位

拝啓貴地開拓三十周年記念の際に際しましては在聖バストス会員も多数押掛け且格別の御配慮にあがり厚く御礼申上げます。四日間には直ぐ杉大なるフロラムも備りなく盛大裡に終りましたことは御同慶の至りでありませす。吾々もいささか乍ら御協力し得たことを喜んでおります。在聖バストス会には郷土バストスと共にあり今後この会を良く嘯み育てることを念願としております。一隣ながら何分の御協力方願上げます。先がはとりあえずお礼の言葉を申述べます。

新津 牛丸

早魃のをりなればこそいそいそとありかたぐあれ 黄昏の雨
 雨浴みて隣りバストのイペの花
 金色の光いそいそりけり

カタリーナ

"Catarina"



上ヶ島サロンは
 スールブラジル組合の裏
 本通り 小林書店の向ひ側
 から ぱります
 サンパウロで只今流行の
 整髪をいたします
 令嬢向、若婦人向、奥嬢向
 どんな御注文にも結上げます
 目取も新しいモーターは
 上ヶ島光子経営の
 サロン カタリーナで

御しらせ

日本柔道使節一行がバストスへ立寄られることと

なりました

○来る八月十三日午後七時、杉道場に於て

講道館の型公開及び開

道場生に稽古をつけられました

小谷	八段
篠原	四段
木原	七段 <small>(在伯)</small>
片山	六段

外に 講道館柔道の実寫を

映寫いたします

バストスは予定地ではなかったのですが、小谷八段が先年訪問されたことがありまので、なつかしく思われ、ぜひ立より度いと云って下さったことから、来訪実現となったものであります。

バストス柔道関係者一同

各 位